

高等学校課題研究ハンドブック序

このハンドブックは、高校生の皆さんに「課題研究では、リサーチをどのように進め、その結果を分析したあと、プレゼンやレポートをまとめたら良いのか」を説明します¹。

この序では、全体の目次と内容を紹介しますが、それぞれの Chapter は独立した内容です。したがって、皆さんは必要な Chapter だけ目を通していただいてもかまいません。

1. 目次と内容の紹介

まず、Chapter 1～3は“**基礎編**”です。どなたもお目通し下さい。

Chapter 1：リサーチ、プレゼン、レポートの枠組み（1～4頁）

- ・全体の**枠組み**を説明しますが、肝心なのは「**なぜリサーチの方法を学ぶのか？**」です。それは高校・大学卒業後、就職先での仕事の進め方そのものなのです。

Chapter 2：リサーチの進め方とテーマの深め方（5～8頁）

- ・序→結果→考察・議論という枠組みを踏まえ、**テーマの決め方・深め方**を学びます。

Chapter 3：テーマを絞り込み、リサーチのアウトラインを考える（9～12頁）

- ・テーマの絞り込みと、それを**アウトライン**にまとめる作業は結構難しい！

次の Chapter 4～6は“**リサーチ実践編**”です。

Chapter 4：テキストレビュー：課題図書をレビューする（13～16頁）

- ・入学前教育や大学初年次によく課せられる課題、**テキストレビュー**について説明します。感想文ではなく、レポートとしての解釈力・構成力・文章力等が試されます。

Chapter 5 a：リサーチ初級編 1（17～20頁）

Chapter 5 b：リサーチ初級編 2（21～24頁）

- ・課題を与えられた時、資料をいかに探して、整理するか、さらにストーリー（筋道）を見つけ、考察を仕上げるか、リサーチ実践編です。

Chapter 6 a：リサーチ上級編 1：公刊データの分析（25～28頁）

Chapter 6 b：リサーチ上級編 2：アンケート調査と統計、グラフなど（29～32頁）

Chapter 6 c：リサーチ上級編 3：フィールド調査（33～36頁）

Chapter 6 d：リサーチ上級編 4：フィールド調査（続）インタビュー等（37～40頁）

- ・上級編として**公刊データ**の探し方と分析法（6 a）、**アンケート調査とデータの処理法**等（6 b）、**フィールド調査**（6 c）や**インタビュー**等（6 d）等を説明します。

Chapter 7～8は“**表現編**”です。思わぬところで、細かな表現が評価に反映されます。

Chapter 7 a：文章や引用の方法について前編（41～44頁）

Chapter 7 b：文章や引用の方法について後編（45～48頁）

- ・**文章や段落の長さ・構成、句読点**、思わぬところがレポートの評価にかかわります。また、コピペにならずにきちんと“引用”とするスキルを教えます。

Chapter 8：プレゼンテーションについて（49～52頁）

- ・どうすれば効果的なプレゼンができるか、しっかり準備しましょう。

¹ このハンドブックの内容は、関西学院大学総合政策学部編『基礎演習ハンドブック』（2012）にもとづきます。総合政策学部では理系から文系まで様々な分野の教員がいますが、専門の枠を越えて様々な分野の学生にリサーチ・プレゼン・レポートの基本スキルを教えるために編集されています。

2. リサーチ、プレゼン、レポートとは何か？

このシリーズで頻繁に出てくるこの3つの言葉や関連する用語を簡単に整理しましょう。

- (1) **リサーチ**とは実際に調べることで、期待される成果のプレゼンテーション（発表）やレポートの構想も踏まえてリサーチ・デザインを考えることが望ましいというのがこのハンドブックの主旨だ、と理解して下さい。
- (2) **プレゼン**：リサーチの成果を、口頭・ポスター発表等によって発表（プレゼンテーション）します。広義には、質疑・討論も含まれていると思って下さい。
- (3) **レポート**：リサーチの成果等を報告書にまとめること、あるいはその報告書そのものを指します。このように、リサーチ、プレゼン、レポートは互いに深く関連しあっています（本文参照）。
- (4) **学術論文**：例えば、**査読付き学術雑誌**に公刊されたレポート（論文）をさします。
- (5) **課題研究・探求学習**：高校等での授業を指します。

3. 参考とすべき文献・Web 資料

きちんとしたリサーチ・プレゼン・レポートのスキルを身に付けることは、大学生活やさらに卒業後のお仕事にも役立つ最大のスキルの1つ！ でも、それはなかなか難しいことです。以下、お勧めの参考書等をあげます。ぜひ、しっかり勉強してください。

なお、以下の文献・検索サイトのリストは、皆さんがレポートを作成する際、その引用文献表を作るための見本も兼ねています。レポートで文献や資料を引用する際、本文中に必ず出典を明示するとともに、巻末に引用文献・資料リストを付けて下さい。出典をはっきり示さないと、“コピペ”として不正行為にみなされます。対照的に、きちんと引用をおこない資料の出典を明示すると、「ちゃんとした資料を調べ、かつ、引用のルールも守っている」と判断されて、評価が高くなるかもしれません（Chapter 7も参照）。

皆さんにとって、役立つかもしれない文献・検索サイト

- ・ **文献** 樋口裕一『やさしい文章術—レポート・論文の書き方』中央公論新社、2002。
本多勝一『中学生からの作文技術』朝日新聞社、2004。
河野哲也『レポート・論文の書き方入門、第3版。』慶応義塾大学出版会、2002。
関西学院大学総合政策学部編『基礎演習ハンドブック改訂新版 さあ、大学の学びをはじめよう！』関西学院大学出版会、2012。
永田恒一『これで書ける企業論文：失敗例と図解で納得』工業調査会、2007。
小笠原喜康『インターネット完全活用編：大学生のためのレポート・論文術』講談社、2003。
高橋昭夫『すぐに使える！ ビジネス文章の書き方』PHP研究所、2007。
山本義郎『レポート・プレゼンに強くなるグラフの表現術』講談社、2005。

・ 論文検索サイト

CiNiiArticles : <http://ci.nii.ac.jp/>

J-stage(科学技術情報発信・流通総合システム) 記事検索 :
<https://www.jstage.jst.go.jp/AF13S010lnit/-char/ja/>

Google Scholar : <https://scholar.google.co.jp/>

・ 図書検索

CiNiiBooks : <http://ci.nii.ac.jp/books/?l=ja>

2018年3月

編集：関西学院大学総合政策学部・関西学院千里国際高等部